

第6次飯能市総合振興計画策定ワークショップ結果報告書

1 開催の目的

令和8年（2026年）4月から開始する新たなまちづくりの計画（第6次飯能市総合振興計画）の策定にあたり、将来の飯能市に向けた市民の思いなどを踏まえた、これからのまちづくりの方向性（将来都市像）について検討するため、実施しました。

総合振興計画とは

総合計画は、地方自治体が策定するすべての計画の基本となる、行政運営の総合的な指針となる計画であり、地域づくりの最上位に位置づけられる計画です。

飯能市総合振興計画とは

市民・事業者・行政が共に描くまちづくりに向けて共通の目標を実現するため、今後10年間の本市が目指すまちづくりの将来都市像を示すとともに、まちづくりの基本理念や基本施策など計画の全体像と方針・方策を明らかにするもので、①市政の総合的・計画的な行政運営の指針、②市民や民間団体などの地域活動における共通目標・行動指針、③国・県・広域圏の事業計画策定や事業との調整・連携のための指針としての役割を担うこととしています。

2 開催日時

ワークショップは、全3回にわたり、以下のとおり開催しました。

回	第1回	第2回	第3回
日時	令和6年9月11日（水） 19:00～20:45	令和6年10月9日（水） 19:00～20:45	令和6年11月6日（水） 19:00～20:40
会場	市役所本庁舎別館2階 会議室	市役所本庁舎別館2階 会議室	市役所本庁舎別館2階 会議室
参加者	公募市民3名 市内事業者・団体16名 市職員10名 計29名	公募市民3名 市内事業者・団体13名 市職員10名 計26名	公募市民3名 市内事業者・団体15名 市職員10名 計28名
内容	・オリエンテーション （総合振興計画の概要、市民意識調査結果等の説明） ・グループワーク 〔テーマ〕飯能市に住んでいて・働いていて良いと思うこと	・グループワーク 〔テーマ〕飯能市の、伸ばすべき魅力や良い部分について	・グループワーク 〔テーマ〕飯能市の目指す姿（将来都市像）の提案

3 ワークショップの流れ

第1回 「飯能市の良いところ」を話し合う。

↓

第2回 どの「飯能市の良いところ」を伸ばすべきか、また、「伸ばすための取組や課題」を話し合う。

↓

第3回 「飯能市の良いところ」を伸ばして「飯能市がどのような状態になってもらいたい」を話し合う。これらを集約した「飯能市の目指す姿（将来都市像）」を設定する。

4 各回の内容

1グループ6名×5グループによるグループワークを実施しました。

第1回

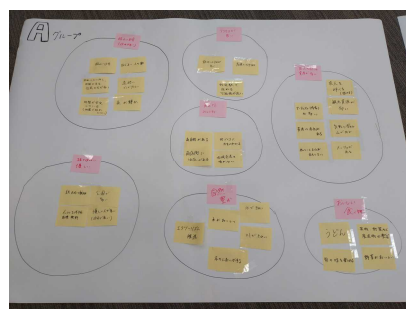
①意見記入

各自で「飯能市に住んでいて・働いていて良いと思うこと」について付箋に記入しました。



②意見共有・グルーピング

付箋の内容をグループ内で発表しながら、模造紙に付箋を貼りつけました。近い意見を集めたり、グルーピングをしながら整理しました。



③発表

各グループにおいて、どのような意見が出されたか発表し、全体共有を行いました。



第2回

①意見記入

第1回の各グループの意見を踏まえ、各自で「飯能市の、伸ばすべき魅力や良い部分」について付箋に記入しました。



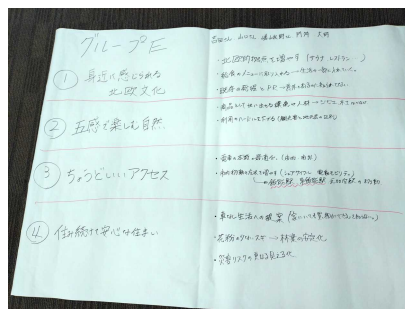
②意見共有・グルーピング

付箋の内容をグループ内で発表しながら、模造紙に付箋を貼りつけグルーピングをしました。グルーピングされた「飯能市の、伸ばすべき魅力や良い部分」を3～4項目に整理するとともに、各項目をワンセンテンスで表現しました。



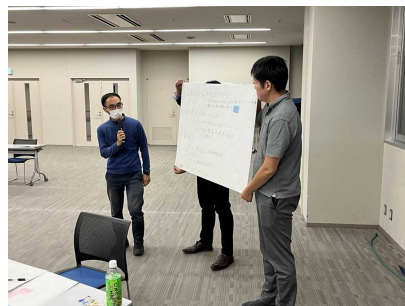
③意見の具体化・整理

ワンセンテンスで表現された「飯能市の、伸ばすべき魅力や良い部分」の項目ごとに、「伸ばすための取組や課題」について、さらに具体的な検討を行い意見を共有・整理しました。



④発表

各グループにおいて、どのような意見が出されたか発表し、全体共有を行いました。



第3回

①意見の文章化

第2回のグループで整理された項目（「飯能市の、伸ばすべき魅力や良い部分」と「伸ばすための取組や課題」）について各自で文章化しました。



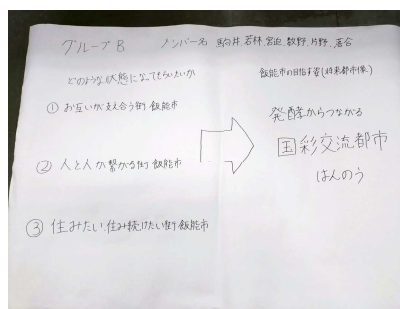
②意見共有・整理

各自の文章化の内容をグループ内で発表しながら、意見を整理・集約し、項目ごとに飯能市が「どのような状態になってもらいたいのか」について共通認識を持ちました。



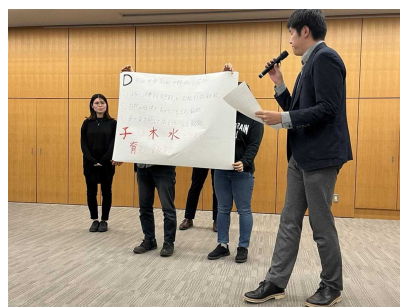
③意見の集約

各項目において導き出された「どのような状態になってもらいたいのか」を集約した、「飯能市の目指す姿（将来都市像）」を検討・設定しました。



④発表

各グループにおいて、どのような将来都市像としてまとめられたか発表しました。



5 各グループのグループワーク結果

グループA

第1回「飯能市の良いところ」

	人
	自然
	アクセス
	住みよさー子育て・教育 住環境
	食
	観光

集約意見	個別意見	集約意見	個別意見
程よい田舎	程よい田舎 程よい人の数 路線バスに対し理解のある住民も方が多い 道路にゴミが少ない 地盤が安定している（地震で揺れにくい） 夜が静か	子育て世代に優しい	紙おむつ補助 インフルエンザ予防接種無料 公園が多い 優しい人が多い（治安が良い）
アクセスが良い	都内へのアクセスが良い 高速へのアクセス 始発駅で座れる可能性が高い	自然豊か	水がきれい 水が美味しい 川がきれい 木のおいがする エコリズム推進
元気なコミュニティ	商店街がある 町づくりに力を入れている 商店街に活気がある 地域交流の場が多い	おいしい食べ物	うどん 果物・野菜など産直物が豊富 旬の味を楽しめる 野菜が美味しい
友人を招ける資源が多い	友人を呼べる（招ける） 観光資源が多い アーティスト（作家）が多い 資源の余白がある 気軽に登れる山がある 残っている文化が面白い メッツァがある		

第2回「飯能市の、伸ばすべき魅力や良い部分」と「伸ばすための取組や課題」

飯能市の、伸ばすべき魅力・良い部分	←	伸ばすための取組・課題
①気軽に行ける身近な自然が多いまち飯能	←	①ゴミ0、住む人来る人もマナーを守る 自然の維持
②自慢したいことがあります ～知人ぞ知る飯能の魅力～	←	②情報発信、SNS、HP
③元気になるまち飯能 ～住む人来る人も元気なまち～	←	③コミュニティの維持
④住んでて良かった、住んだらよかった	←	④住みやすさの維持

第3回「どのような状態になってもらいたい」と「飯能市の目指す姿（将来都市像）」

どのような状態になってもらいたい	飯能市の目指す姿（将来都市像）
①自然をみんなで守れるまち飯能 ②みんなに届けたい自慢したい魅力あるまち飯能 ③コミュニティの維持 住む人来る人も元気になるまち飯能 ④住みたい住み続けたいまち飯能	自然と文化と活気にあふれる 住みたい 住み続けたいまち 飯能

～将来都市像に込めた思い～

「自然と文化と活気にあふれる 住みたい 住み続けたいまち 飯能」

飯能に住む人、来る人がお互いを尊重し、マナーを守る意識が大切。そうすることで自然環境もコミュニティも守ることができる。市民ニーズに寄り添い、住む人の満足度が高いまちにする。あまり知られていない飯能の伝えたい・自慢したい魅力を発信し、世界中からより多くの人に訪れてもらうまちにする。そして、住む人も来る人も活気にあふれる住み続けたいまちでありたい。

グループB

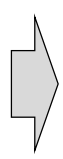
第1回「飯能市の良いところ」

集約意見	個別意見	集約意見	個別意見
人の温かさ	人が温かい 商売は固定客さえ掴めば都内より良い 人と人との繋がり強い 住民がおおらかで理解がある 人が宝物 移住者が面白い	地域の魅力（食）	食べ物が美味しい 発酵のまち 五十嵐酒造・有馬錦酒造・カールヴァー ン・やまね酒造 OH・味噌・ぬか漬 農産物が実は色々ある チェーン店でなくて個人店が面白い 駅の近くに飲み屋さんが多い
交通（市内）	道路環境が（走行環境）が良い、先進的な 取り組みを可能としている 程よく田舎	自然環境	エコツーリズムのまち 豊かな自然と生物多様性、それを伝える 様々なプレイヤーがいる（エコツアー） 自然環境が良い（街と自然の一体化） 自然環境の豊かさ 清流・森林・西川材・ニホンヤマネ・ツキ ノワグマ 花が身近に見られる 自然が豊か 地盤が強い 空気がきれい 子どもを遊ばせる場所（自然）
交通（外部）	渋滞が無い 自然が豊かなが都心に出やすい 東京に近い 二路線、電車が走っている		
福祉の充実	CSW（コミュニティソーシャルワーカー）が いる、現在10名 地域活動（ボランティア）が熱い！ 支え合い活動団体（有償ボランティア）が 11団体いる		
地域の魅力 （地域コンテンツ）	地域コンテンツの充実 アニメ「ヤマノススメ」の舞台 天覧山岳部 ムーミン 野口のタネ 織物・食事の文化度が高い ヤマノススメの聖地 ムーミンパークがある ドラマ・映画のロケ地になっている 地区で文化が違うので観光気分になる		

第2回「飯能市の、伸ばすべき魅力や良い部分」と「伸ばすための取組や課題」

飯能市の、伸ばすべき魅力・良い部分	←	伸ばすための取組・課題
①成長し続ける地域活動 例)市内13地区それぞれの良さを活かした地 域活動	←	①地域の活動者を支える仕組みづくり 例)CSWの増員
②飯能でしか経験できない観光 例)農林業を活かした発酵ツーリズム	←	②業界を越えた連携 例)構造改革特区（どぶろく）
③住みやすい立地・環境 例)程よい田舎でありながら、都心から1時 間というアクセスの良さ	←	③情報発信の強化、公民連携 例)アクセスの良さ×飯能の魅力

第3回「どのような状態になってもらいたいのか」と「飯能市の目指す姿（将来都市像）」

どのような状態になってもらいたいのか		飯能市の目指す姿（将来都市像）
①お互いが支え合う街 飯能市		発酵からつながる 国彩交流都市 はんのう
②人と人が繋がる街 飯能市		
③住みたい、住み続けたい街 飯能市		

～将来都市像に込めた思い～

「発酵からつながる 国彩交流都市 はんのう」

将来人口減少によりさらにボランティアの需要が増えていくため、市民どうしで助け合い、お互いを支えあえることが大切。横のつながりを生かし、すでにある飯能でしか経験できない観光（農業×発酵）を行うことで、国内外から人を呼び込み、人の繋がりをつくる。住みやすい立地や環境をもっとPRすることで若者にも住んでもらう。今ある資源を彩らせ、様々な人々が繋がり、彩り豊かなまちでありたい。

グループC

第1回「飯能市の良いところ」

集約意見	個別意見	集約意見	個別意見	
観光資源が多い	程よく散歩できる	教育環境	駿河台大学	
	程よく田舎である		加治は教育環境が整っている	
	都心が近く商圏が広い		幼〜大学、全ての教育環境が整っている	
	メッツァがある		子育て環境	
	飲食店が多い	幼稚園がたくさんある	優しい人	子どもに優しい
	ムーミンパークの人气が高い	やりたいことがあって飯能に来る（移住）する人が多い		
	BBQが有名？	先生が親身になってくれる		
	山登り・ハイキングが電車で来れる	親切な人が多い		
インフラ	バイクにのると299号線がgood	人間が親切、受け入れてくれる		
	日本縮図	優しい人が多い		
	中心部がコンパクト	戻ってくる人が多い		
	交通環境の維持ができていて （都心へのアクセス）始発駅がある	熱い人		
	道が広い	（熱心な人が多い）		
	西台工業団地	ホッケーチーム（オリンピック競技）がある		
	美杉台地区の景観	エコツアー		
	買い物しやすい	てんたの会		
	公共交通が整っている	お散歩マーケット		
	電車での移動が便利	新しい事が好き		
	通勤が楽	名栗		
	都心が近く生活とのバランスが良い	改革消防団		
	ラビュがとまって便利	リタイヤした人が来ている（移住）川越・秩父・所沢にはさまれている地理的要因か？		
	西武鉄道があるのが便利	農業が身近	農のある暮らし	
	西武線終点地		農が身近	
	自然環境		自然が豊か	野菜が美味しい
川遊びができる豊かな自然環境			農産物が豊か、美味しい	
町中は坂が少ない		固有種野菜のメッカ		
森林文化都市				
空気がきれい				
川がきれい				
川が近い				
自然豊かで落ち着く				
地震の揺れが小さい				
大きな災害が少ない				
東京からこんな近くでホテルが見れるくらい のきれいな川				
程よい都市・自然				

第2回「飯能市の、伸ばすべき魅力や良い部分」と「伸ばすための取組や課題」

飯能市の、伸ばすべき魅力・良い部分	←	伸ばすための取組・課題
〈現在〉 ①持続可能性のある環境保全	←	①保全 ・PR→消費→守る
〈過去〉 ②語り継いできた文化	←	②知る→学ぶ→語る→知る→・・・ ・掘り起こす　・語り継ぐ人材 ・飯能ゆかりのマンガを描いてもらう
〈未来〉 ③世界にはばたける人材育成 教育環境が整っている	←	③統一した教育像を作る ・地域との連携を強化

第3回「どのような状態になってもらいたい」と「飯能市の目指す姿（将来都市像）」

どのような状態になってもらいたい		飯能市の目指す姿（将来都市像）
①環境資源を循環利用する飯能市		
②多様な方法で文化を語りつぐ飯能市		
③世界にはばたく教育像のある飯能市		

～将来都市像に込めた思い～

「これまで、いま、これから きちんとつなぐ はんのう」

自然・歴史・文化を過去から未来へつなぎ、飯能プライドを醸成していくため「これまで」、「いま」、「これから」の3つの視点で考えた。

人と人が語り継いできた歴史や文化などを分かりやすい媒体（マンガなど）で次世代へ語り継ぐ。（これまで）

今ある環境資源を活用・消費、保全し、循環利用することで持続可能なまちにする。（いま）
飯能市には大学まであり教育環境が整っているため、地域との連携を強化し、独自の統一した教育像を作り、世界に羽ばたける人材を育成する。（これから）

過去から未来への時間軸をつなぎ、飯能を知ることで「飯能に住みたい」、「飯能に住んで良かった」と思ってもらえるまちにする。そして、将来は飯能出身、飯能在住ということに優越感（プライド）を持ってもらえるようなまちを目指していく。

※ 将来都市像は言葉ではなく図でもよいのではないか。

グループD

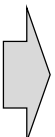
第1回「飯能市の良いところ」

集約意見	個別意見	集約意見	個別意見
電車アクセス、始発の強み！	始発駅	伝統・文化がある！	歴史がある
	飯能駅が始発なこと		商店街やお祭など
土地価格	土地が安い		祭りがある
	入間・所沢と比較しても安い！		伝統文化が生きている
	横浜の駐車場代くらい		獅子舞など
	住宅の土地が広い	人が良い	優しい人が多いところ
都会へのアクセスが良い (電車)	都会へのアクセスが良い		絆が強い
	都心に行きやすく川越方面も行ける		人付き合い
	なんだかんだで池袋直通		よそ者の受入れが良い
	都心へのアクセスが良い(通勤)		人情派、時に面倒かもだけど
	電車で色々な所に行きやすい		人と人との繋がり、気さくな方が多い
	とかいなか、ちょうど良い距離		役所窓口が優しい
地方へのアクセスが良い (車)	インターが近い		個性ある住民が多い
	信州方面出やすい	行政・市民が動きやすい	程よい人口
山・川・木、自然が多い	自然		市民活動が見える
	自然がたくさん！	福祉	川やあけぼの、子どもが遊べる
	自然に囲まれているところ		子ども医療費18歳まで
	空気がきれい		保育園に入りやすい……多分
自然を使った	天覧山		子どもに優しい
観光資源、レジャー	駅から徒歩で泳げる川		福祉が元氣
	駅から10分で大自然！	防災	地震に強い
	川がきれい	その他	牧歌的……？
	登りやすい山がいっぱい		通勤時間が短い
自然の恵みで美味し～！	野菜が美味しい		実家が近所
	水が美味しい		
森林文化が感じられる	人工林が多い		
	木のぬくもりを感じられる！		
	自然など木に対する思いが強い人が多い		
	西川材、はしらベンチ		

第2回「飯能市の、伸ばすべき魅力や良い部分」と「伸ばすための取組や課題」

飯能市の、伸ばすべき魅力・良い部分	←	伸ばすための取組・課題
①子育てしやすい環境（を充実させる）	←	・子どもが遊びたいと思える公園を増やす ＋バリアフリー整備 ・親世代の働く場所を増やす（子どもを育てる制度・環境等をさらに充実させ外部転入者を増やす）
②自然環境の保全と利活用	←	・森林資源のさらなる PR ・森林整備の促進と木材活用 ・人材育成
③観光	←	・点を線で結ぶ→移動手段の充実 ・PR ・ターゲット層を絞る、調査する

第3回「どのような状態になってもらいたいのか」と「飯能市の目指す姿（将来都市像）」

どのような状態になってもらいたいのか		飯能市の目指す姿（将来都市像）
①「稼ぐ、消費する、育児する」が完結するまち飯能		子どもを木と水とともに 育む 飯能
②自然の価値を活かしきるまち飯能		
③来て見て感じて泊まりたくなる飯能		

～将来都市像に込めた思い～

「子どもを木と水とともに育む 飯能」

子どもが遊べる施設を作り、子育て世代を呼び込むことで交流・定住人口を増やし、雇用を増やす。稼ぐ、消費する、育児をする、生活が完結するまちにする。自然資源を生かしきるため、木を使った建物の建築や木を感じる場所を増やす。まち全体を北欧コンセプトにし、今ある資源を回遊できるように整備することで、日帰り観光だけでなく泊まりたいまちにする。自然豊かな環境で子どもを大切にするまちでありたい。

※ あえて小学生でも読める漢字を使用。

グループE

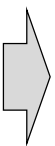
第1回「飯能市の良いところ」

集約意見	個別意見	集約意見	個別意見
エンジョイ	ヤマノススメ（アニメ）	自然	国立公園がある
	BBQ、メッツァ		飯能河原～入間川が本当にきれい
	世界でこしかいないムーミンパークに近い	施設	水道水が美味しい
	手軽な自然		古い建物をリノベーションした素敵なカフェがたくさんある！
	娯楽 ・メッツァ ・ゴルフ ・クライミング ・カート場		きれいで素敵な図書館がある！
	キャンプ場がたくさんある！	賑わい・活気	工業団地（雇用）
	北欧		大学生が通ってくる（若い人がいる）
	子どもが遊べる公園		聖望学園、野球・サッカー
	自然が豊かな		スポーツチームがTVに出てる
	豊かな自然が身近にある！（鳥の声、虫の声）	アクセス	ちふれサッカーチーム
	自然に触れ合える公園が多い		伝統的な行事
	飯能河原が良い		ツーリング
	狩猟ができる		複数路線が選べる！
	ジビエが食べれる		圏央道のインターチェンジに近い（青梅・入間・狭山日高）
新旧融合グルメ	四里餅		・西部・高速IC
	コクヤのうどんが美味しい		新しい道路が多い、年々便利になっている
	みそ付けんじゅう		電車がすいている
	すいーとん		車で移動しやすい
	酒造がある		終点地で楽
	新しい店、新しいイベントが多い		飯能駅始発！
	個人飲食店が多い！	住環境	アクセスが良い（電車、高速）
	銀座通り商店街		地震の時揺れない
	老舗と新しい店		大雨でも氾濫しない（名栗ダム、飯能河原が耐えてくれる）
			家賃が安い

第2回「飯能市の、伸ばすべき魅力や良い部分」と「伸ばすための取組や課題」

飯能市の、伸ばすべき魅力・良い部分	←	伸ばすための取組・課題
①身近に感じられる北欧文化	←	・北欧的拠点を増やす（サウナ、レストラン等） ・給食のメニューに取り入れる→生活の一部に入れていく ・既存の発掘とPR→意外とあるのに知られてない
②五感で楽しむ自然	←	・商品として世に出せる環境や人材→ジビエ、木工等 ・利用のハードルを下げる（観光客と地元民の区別）
③ちょうどいいアクセス	←	・電車の本数の最適化（市内・市外） ・市内移動の方法を増やす（シェアサイクル、電動モビリティ） →飯能駅、東飯能駅、元加治駅の移動
④住み続けて安心な住まい	←	・車なし生活への提案（「家にいても買い物ができる」を知らない） ・花粉の少ないスギ→林業の安定化 ・災害リスクの更なる見える化

第3回「どのような状態になってもらいたいのか」と「飯能市の目指す姿（将来都市像）」

どのような状態になってもらいたいのか		飯能市の目指す姿（将来都市像）
①北欧文化を身近に感じられる 飯能市		あんしん かいてき ちょうどいい 緑でうるおう 飯能市
②豊かな自然から富を生み出す街 飯能市		
③来やすい巡りやすい乗りやすい 飯能市		
④住み続けて あんしん かいてき ちょうどいい		

～将来都市像に込めた思い～

「あんしん かいてき ちょうどいい 緑でうるおう 飯能市」

移動手段に困らない、人が来やすい、巡りやすい、乗りやすいまちにし、住む人も来る人もかいてきにする。自然の恵みを五感で感じ、体験、提供することで人々と市に富（心の豊かさ、お金の豊かさ）をもたらす。その豊かさの中に北欧文化を身近になじませ、住む人が誇れるまちにしたい。そして、機能・経済・心情で「住み続けられる」あんしん・かいてき・ちょうどいい・うるおうまちでありたい。

ご協力いただきありがとうございました！



参加者のみなさんからいただいた将来都市像のご提案を参考に、第6次飯能市総合振興計画の基本構想を検討していきます。